

2005～06年度国際親善奨学生 第5回

2006～07年度国際親善奨学生 第1回

合同オリエンテーションを終えて

地区財団奨学金委員会 学友担当 藤原重行

入梅して間もない6月11日(土)和歌山JAに於いて、2005～06年度の財団奨学生にとっては最後となり、2006～07年度の財団奨学生にとっては合格説明会后、最初のオリエンテーションを合同で行いました。

当日は公務ご多忙の中、中島ガバナー、小島カウンセラー、平尾ガバナーエレクトを始め奨学生のカウンセラーの皆様方多数ご出席頂き、オリエンテーションを円滑に進めて頂きました。

最初に中島ガバナーのご挨拶に始まり、小島カウンセラーによる国際親善奨学金についての趣旨と財団奨学金制度をご説明して頂きました。

その後2005～06年度の奨学生から各人の現況の経過報告して頂き、また質疑応答に対して適切なる指導を行いました。

また今回は、オランダより帰国直後の奥田真也様(2000～01年度財団奨学生)を迎え、留学に対するアドバイスを頂きました。

その後、私より財団学友の説明や責務、留学後の学友としての協力をお願いいたしました。

引き続き、場所を変え2005～06年度奨学生の歓送会を開催しました。

昨年5月の財団奨学生試験より早くも1年、合格した奨学生候補の皆様方と共にオリエンテーションを行ってまいりました。奨学生候補の皆様方には多少の馴れもあるでしょうが、この1年間で各人は立派に自らの現況報告をされ、問題点を的確に質問も出来るようになりました。1年間のオリエンテーションの成果と各人の成長を身近に感じる事ができました。今後の留学しての国際親善奨学生としての成長や成果が益々楽しみになりました。

また歓送会において、当地区が行っている5回のオリエンテーションに対し、多くの奨学生より感謝の言葉を頂きました。

当地区の財団プログラムの良さを再認識いたしました。